

常州金源銅業における新荒引線製造設備の建設について

日鉱金属株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：岡田昌徳）が出資している中国における銅荒引線製造会社、常州金源銅業有限公司（本社：中国江蘇省常州市、董事長：外池廉太郎）は、かねて中国における高品質銅荒引線需要の急増に対応するため設備の増強を検討していましたが、今般、2億元を投資し、年間30万トン能力を有する最新鋭設備を導入することを決定し、その建設に着手しました。新設備の完成・操業開始は、2010年央を目途としております。

常州金源銅業は、1997年の商業生産開始以降「世界一流、中国一位」のスローガンの下に順調に成長し、当初設計能力年間10万トンの設備を逐次改造して、現在では年間19万トンの銅荒引線を製造するとともに、品質では中国一位の評価を得るに至っておりますが、現有設備では中国における急速な経済成長に伴う顧客からの高品質銅荒引線需要の急増に対応できない状況となっております。

新設備完成後は、最新鋭設備による年間30万トン体制とし、更なる需要の拡大、品質要求の高度化に対応してまいります。なお、既存設備は、特注品・試作品等の製造に引き続き活用する計画であります。

今後、日鉱金属グループでは、常州金源銅業における設備建設、立上げを全面的に支援し、成長著しい中国市場における常州金源銅業および日鉱金属グループのプレゼンスの拡大を図ってまいります。

常州金源銅業有限公司の概要

1. 設立	1994年3月
2. 所在	江蘇省常州市（工場敷地125千m ² ）
3. 資本金	177.2百万元
4. 出資者構成	日鉱金属株式会社 58% タツタ電線株式会社 3% 隆達（香港）有限公司 36% （五鉱資源有限公司（1208HK）傘下投資法人） 常州工貿国有資産経営有限公司 3%
5. 従業員	約250人
6. 07年度実績	販売量 189千トン 売上高 8,252百万元



常州金源銅業有限公司